



ごあいさつ

平素より格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

新元号が発表され、本年は節目の年となりました。平成という時代は襦業界にとって大変厳しい時代でした。平成元年頃、当社のような襦の量産会社は関東地区に13~15社ありましたが、令和元年の今、その数は2~3社にまで減少しました。約5分の1です。襦製造業者が倒産廃業に追い込まれた主な理由を「和室がなくなったこと」とするならば、畳業界の今の姿をどう説明するのでしょうか。同じ「和室」の中にありながら明暗が分かれてしまいました。襦屋として努力すべき点は多々ありますので、ハリマ産業は今後も襦屋としての挑戦を続けていく所存です。

依然厳しい状況ではありますが、新しい芽がいくつか出てきています。住宅業界がリフォームに傾く中、襦の張替に着目した新規参入業者（フランチャイズ）の動きが目立ってきています。また、「外国人が建てる家」にも注目が集まっています。日本文化ブームの後押しがあるのか一部とても凝った和室をつくる高級志向の人々が増えています。一室あたりの単価が高いので期待しています。

時代の変化を受け容れつつ、和室・襦のある住まいを一軒でも多く残すことに貢献できる会社でありたいと考えております。これまで培ったノウハウを質を落とさず若い社員たちに伝えていくため、そしてお客様にとって使い勝手の良い業者であり続けたいという思いから、さらなる社内業務のデジタル化、社外へ向けての情報発信を強化していく所存であります。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

ハリマ産業株式会社 代表取締役 大久保 謙一



平成17年7月15日
天皇陛下行幸



天皇陛下行幸
新聞記事

CALENDAR 2019

休業日

5月 クールビス☆スタート！

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月 工場見学☆大歓迎！

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月 お盆前☆「張替」殺到！

日	月	火	水	木	金	土
						1
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

NETWORK 【建具サミット】大栄建材株式会社

2018.7月号より、弊社が参加する“建具サミット”の紹介をさせて頂いております。全5回に渡ってメンバー企業を順番にご紹介致します。

第3回 大栄建材株式会社様

大栄建材様は「アルミ室内建具」を得意とするメーカーです。全国各所に営業所をもち、やはり全国展開しているハウスメーカーとの取引にも対応されています。創業時よりアルミ室内建具の普及に注力され、現在では建具全般を扱う総合メーカーになっています。大栄建材様と弊社との出会いは少しドラマチックです。33年前頃になりますが、業界新聞に弊社の商品が紹介されたことがありました。その記事を読まれた大栄建材様の林社長が弊社を訪ねてくれたのです。林社長と弊社の先代社長は同じ早稲田大学の出身ということもあり、お付き合いが始まり



ました。弊社は代替わりしましたが、この建具サミットがある縁で今でもお付き合いを続けさせて頂いております。今年7月の建具サミットは大栄建材様にて開催されます。今から楽しみにしております。

大栄建材株式会社

〒939-0296 富山県射水市北高木105番地

TEL：0766-52-5123 FAX：0766-52-2224

<http://www.daieikenzai.com/>

HARIMA 製作事例集

ハリマ産業の「製作事例集」をご存知ですか？

弊社で製作した建具を事例化してWEB上で1つ1つご紹介しています。襖・戸襖・障子・ドアの事例は勿論、加工や部材に注目した事例も多々ございます。一般的なものから中々見ることのないデザインまで多種多様です。宣伝活動の一貫で始めたこの製作事例集、最近ではハリマ産業の記録のように思えたり、襖・建具業界に何かしらの貢献ができればと考えてみたりと、ハリマ産業の将来像にヒントを与えてくれる存在になってきました。3年近くかけて200事例に届くかというスローペースですが、この地道な活動がどんなことに繋がっていくのかを楽しみに、これからも続けていきます。もしご興味がございましたら、アクセス頂ければ幸いです。

事例NO.0134

2019年1月10日



押入襖のご注文を頂きました。

市松柄のクロスに、塗装した特注線をお客様から色見本を拝見し、襖全体の雰囲気を整い素敵な仕上がりになりました。

▼「ツノ」について

線を伸ばしたままにしているのは、現場で建付調整することを考えてのことです。線を切る（落とす）ことを「ツノ切り」と呼びます。ツノを切ってから出荷するかどうかはおお客様の指示に従っております。

<部材情報>

表) ビニールクロス
リリカラ株式会社_V-ウォール 18-21_LV-1189
裏) 雲華紙

引手：
株式会社東京松屋_伝統引手・数寄屋好み_彫引手 8283 大



INFORMATION

◆『ハリマニュース』定期刊行について

情報誌『ハリマニュース』は、1・4・8・11月の年4回発行です。

◆皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい

掲載内容についてのご意見・ご感想をお寄せ下さい。建具に関する内容については、弊社の思い込みによる間違い、また地域差もあると考えております。ご指摘頂ければ励みとなります。